

高大G



(義務教育終了以降の生徒・学生へのSW研究会)

のご案内

- 日時 : 9月10日(月) 19:00~20:45頃
- 場所 : 早稲田大学22号館 510教室
東京都新宿区西早稲田 1-7-14, 5階
東京メトロ東西線「早稲田」駅より徒歩約10分
- 内容 : 学生支援ハウスようこそその活動報告
～学生支援を通して見えてきた「若者支援」の必要性～
- 講師 : 酒本知美さん (NPO 法人学生支援ハウスようこそ事務局、
日本社会事業大学通信教育科講師)
- 対象 : 高校・大学等のSSW・CSWスクールソーシャルワーク・キャンパスソーシャルワークに関心のある方

(高大G)は…

高校のスクールソーシャルワークや大学のキャンパスソーシャルワーク等、義務教育終了以降の子ども・若者支援に関心のある人が集まり、隔月(奇数月)勉強会を開いています。その時々に応じて、関心のあるテーマを選び、お互いに意見交換や情報交換等を行っています。ゆるやかな会ですので、関心のある方であれば、職種を問わずご参加いただけます。

今年度の予定 : ④11/12 ⑤1/21 ⑥3/11 ※変更になる場合があります

<前回7月報告> *参加者 14名

私立中学・高校で「当事者研究」を取り入れた中高生による研究会や、親向けのゼミナール等を開催している方にお話をいただきました。

◇ 今回(9月)のご案内

児童養護施設等社会的養護経験者のためのシェアハウスを設立・運営している「NPO 法人学生支援ハウスようこそ」の活動についてお話いただきます。 <https://www.npoyokoso.com/>

以下ホームページより(抜粋)▶ 日本では大学等で学ぶための自己負担が極めて重く、親などによる大きな支援なくして高校卒業後も学び続けることは困難です。児童養護施設等で高校を卒業して大学等に進学できる人は極めて限られています。また、せっかく進学しても卒業に至らず挫折してしまう比率も高いという現実があります。若者の夢を育むはずのキャンパスに見えにくい格差社会が広がっていることは忘れられがちです。サークル活動やコンパ等のつきあいを存分にするという学生生活の醍醐味も、親などの支援を受けられない学生にとっては、決して身近なものではありません。高い授業料に加えてこうした学生生活の諸費用は大きな負担であり、さらに住居費や食費も必要なので、自分のアルバイト収入だけでは到底まかない切れません。私たちはこうした困難を抱えながらそれに打ち勝とうとする志ある若者を応援したいと思います。

【お願い】※資料代として500円を集めさせていただきます。お釣りのないようご用意ください。
※準備の都合上、参加する方は下記(瀬川)までご連絡をお願いします。

日本SSW協会 高大G 連絡係：瀬川

E-mail. keisega18@gmail.com

Tel. 080-4830-1995